

令和3年度

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

【小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表】

運営推進会議による外部評価実施日（令和3年12月28日）

スタッフ会議による改善計画検討日（令和4年1月21日）

運営推進会議による外部評価報告及び了承日（令和4年2月22日）

構成区分名称	役職等	参加状況 (出席:○・欠席:×)	備考
利用者代表	利用者	○	
利用者家族代表	利用者家族	○	
地域住民代表	江迎地区民生委員	○	
地域住民代表	江迎地区民生委員	○	
市職員又は 地域包括支援センター職員など	吉井地域包括支援センター職員	○	
当該事業に関する知見者	他法人小規模多機能管理者	○	

構成委員：6名 定足数：3名 参加者数：6名 ※定足数を満たす

※本年度の自己評価に関しましては、コロナ感染症対策の為、書面会議にて行っています。

(備考欄参照)

佐世保市江迎町栗越 214-2
社会福祉法人 一粒の麦の会
小規模多機能型居宅介護事業所 パスカの丘
☎0956-65-3477

介護予防小規模多機能型居宅介護
小規模多機能型居宅介護
(事業所番号：4290200965)
管理者 松嶺 洋平



令和3年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 一粒の麦の会	代表者	理事長 山本 主税	法人・ 事業所 の特徴	カトリックの教えに基づき、「人を大切にする」ことを理念とし、助け合い・支え合い・学び合いの精神で温かく、優しき溢れる支援を目指して、利用者への支援に取り組んでいます。
事業所名	パスカの丘	管理者	松嶺 洋平		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	2人	1人	1人	1人	0人	1人	0人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	事業所職員全体で利用者様やご家族様、地域の方々に対しての働きかけなどを見直し、地域に根差した利用者様本位の事業所であるよう努めていく。	事業所の自己評価に関しては、非常勤職員も含めて全員で取り組むことが出来た。コロナ感染症が拡大している状況の中でご家族様や地域の方々へ働きかけていくことが困難であった。	利用者様本位の事業所に向けて取り組まれていることは重々承知しておりますが、地域の方々への働きかけなどはコロナ感染症の状況もあり難しかったようです。	事業所全体で利用者様やご家族様、地域の方々に対しての働きかけなどを行い、地域に根差した利用者様本位の事業所であるよう努める。
B. 事業所のしつらえ・環境	コロナ感染症対策もあり、ご家族様との面会等が行えていないこともあるので、利用者様とご家族様が電話やリモート等を通じて繋がりを持つよう努めていく。	コロナ感染症対策の為、ご家族様や地域の方が事業所に訪問して頂くことが難しい状況であった。ご家族様との関りや繋がりについては、電話でお話して頂く機会を増やすことが出来た。	昨年と同様に、コロナ感染症の状況もあり取り組むことが難しかったと思います。来年度以降で状況が落ち着くことがあればその時に取り組んでもらえればと思います。	コロナ感染症が拡大傾向にある際には電話やリモート、メールなどを活用しながら繋がりを持って頂けるように努める。
C. 事業所と地域のかかわり	佐世保市長寿社会課より紹介があり、令和3年度の江迎地区での介護教室を開催させて頂くこととなっているので、教室を通じて地域の方々との交流を図りたい。開催方法は、長寿社会課と相談しながら進めていく。	佐世保市長寿社会課より委託を受けた「令和3年度介護教室」を開催し(動画にて)、ご家族様や地域の方々にご視聴頂けるよう宣伝し、地域の方々に事業所のことを知って頂けるよう努めることが出来た。	今は地域に出向いて行かれることが難しいかと思っておりますので、状況が落ち着いたら取り組まれて下さい。	佐世保市長寿社会課より令和4年度の介護教室(開催形式未決定)の依頼がきているので、本年も開催し地域の方々へ発信をしていきたい。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	コロナ感染症の状況を見ながら地域イベント等への参加を行っていく。また、地域に出向いて行く機会が少ない分、事業所でのイベント等を行っていく。	コロナ感染症の拡大状況もあり、地域に出向いていくことは難しかった。感染症対策上、どうしても事業所で過ごされる時間が長くなってしまった為、ストレス軽減の為、事業所内での季節ごとの催しや、レクリエーションの充実を図った。	現在の状況では地域に出向いて行くことは難しいと思います。コロナ感染症が落ち着いたら取り組まれて下さい。	コロナ感染症の状況を見ながら地域イベント等への参加を行っていく。また、地域に出向いて行く機会が少ない分、事業所でのイベント等を行っていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	コロナ感染症の状況を見ながら、地域の方や民生委員さん、包括支援センターさんからの情報を活用し、地域での取り組みに事業所・利用者様共に参加していけるよう努める。	コロナ感染症の拡大状況もあり、運営推進会議も書面で開催されている。現在の状況では事業所も運営推進委員さんにもイベント等へのお誘いも難しい。	昨年同様にコロナ感染症の拡大が大きく影響しており、外部との関り、繋がりを持つことは難しい状況であると思われる。	昨年の計画を継続して、コロナ感染症の状況を見ながら、地域の方や民生委員さん、包括支援センターさんからの情報を活用し、地域での取り組みに事業所・利用者様共に参加していけるよう努める。



<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>毎月避難訓練を行い、職員・利用者様方の防災意識や避難をスムーズに行えるように努める。 また、災害時の食料・飲料水の十分な確保に努め、地域の方が避難された際に提供できるよう備える。</p>	<p>毎月の避難訓練は予定通り行うことが出来た。職員も以前より避難誘導の仕方などがスムーズに出来るようになったり、その時の利用者様の状態に応じて車椅子を使用したりの洗濯を出来るようになった。災害時用の食料や飲料水は常に確保している。</p>	<p>災害時の食料・飲料水の確保を気掛けて行われている。地域の方々に対する呼びかけを広く行っていくと良いのではないかと。</p>	<p>毎月の避難訓練を継続して行い、職員・利用者様の防災意識向上や避難誘導がスムーズに出来るように努める。災害時の食料や飲料水の十分な確保も継続し、地域の方々にも非常時の避難場所としても呼びかけを行っていく。</p>
----------------------------	--	--	--	--